



報道機関 各位

記者発表資料
令和4年5月13日（金）
問い合わせ先
大宮駅東口まちづくり事務所
所長：山田
担当：長谷川、大沼、福田
電話：646-3291

JACK 大宮南側広場における社会実験『JACK OMIYA JACK』を実施します

さいたま市では、大宮駅周辺において居心地が良く歩きたくなるまちなかの創出に取り組んでいます。令和3年度には、こうした取組をより一層推進するため、「マチミチコンペ in 大宮ウォークアブルシティ」を開催しました。

この度、当該コンペにおいてプレイヤー部門で入賞した『JACK OMIYA JACK』を提案者と本市が共催で実施することとなりました。

- 1 開催場所 JACK 大宮南側広場（別紙案内図参照）
- 2 実施内容 多くの歩行者が通行する JACK 大宮南側広場の持つポテンシャルを活かし、ベンチや植栽等を設置することで滞在や交流を促し、大宮らしさを育む場所を創出します。
- 3 日 時 令和4年5月20日(金)、21日(土) 10:00～16:00
当日中止の場合は下記の Twitter にてお知らせします。
(<https://mobile.twitter.com/WeDoSaitamacity>)
- 4 実施主体 Learned-Scape Sightama（ランドスケープさいたま）

さいたま国際芸術祭2020の市民参加ワークショップ「サーキュレーションさいたま」における「公共空間の活用」チームで集い、さいたま市内の都市空間を活用した「さいたまらしい」ローカルプロジェクトに取り組む任意市民団体
- 5 共 催 さいたま市

 **大宮ウォークアブルシティ**
OMIYA WALKABLE CITY

■実践プロジェクトについて

コンペで入賞した5作品のうちJACK OMIYA JACKがJACK大宮南側広場にて実践されることとなりました。

【案内図】



■JACK OMIYA JACK について

JACK大宮南側広場の持つポテンシャルを活かし、行き交う人々が日常的・恒常的に活用し、「大宮らしさを育む場所の創出」、「周辺エリア価値の維持向上」を地域全体で考え、カタチにしていきます。



■「マチミチコンペ in 大宮ウォーカブルシティ」について

本市では、令和元年に、ウォーカブル推進都市となり、居心地が良く歩きたくなるまちなかの形成に取り組んでいます。

平成 22 年に策定した「大宮駅周辺地域戦略ビジョン」において、「おもてなし歩行エリアの形成」や「おもてなしひろばの創出」等を優先的に取り組むべきプロジェクトとして位置づけ、道路幅員の再構築や美装化に取り組んでいます。

また、アーバンデザインセンター大宮では、道路空間等の利活用にも積極的に取り組んでいます。

この度、本市では、こうしたウォーカブルな取り組みをより一層推進していくため、「(仮称) 大宮駅周辺ウォーカブル推進戦略 (以下、「推進戦略」という。)」を作成することとしました。

本コンペは、推進戦略のモデルプロジェクトと実践プロジェクトとして位置付ける事業のアイデアを募集するとともに、市やアーバンデザインセンター大宮等と一緒に大宮のまちづくりに取り組んでいただける方を募集しました。

コンペを実施した結果、以下の作品が入賞しました。

○モデルプロジェクト部門

最優秀賞

No.13 心も体も満たされる、ウェルビーイングな大宮マチミチへ

優秀賞

No.19 ニワノナカニアルマチ

入賞作品

No.1 モビリティ・アーバニズム

No.8 Connect ~"大宮らしさ"で生む繋がり~

No.12 みちでみちる わたしの暮らし

No.16 大宮を照らし出す

○プレイヤー部門 (推進戦略の実践プロジェクトとして位置づける予定)

会場人気投票特別賞・審査委員特別賞

No.8 大宮を”みまもぶ”の住むマチへ

入賞

No.3 KIDS HOUSE

No.4 さいたま市内の歩道の上を緑に

No.6 JACK OMIYA JACK

No.8 大宮を”みまもぶ”の住むマチへ

No.11 ミズミチ

(参考) マチミチコンペ in 大宮ウォーカブルシティ

<https://www.city.saitama.jp/001/010/015/004/006/006/p082343.html>

